中学生海外研修2025

オーストラリア直送レポート

Vol.6 2025.8.15　登校５日目

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課　栗栖

吉備中学校　平野

パーマストン校グループ／教育委員会社会教育課　児玉

八幡中学校　熊ノ郷

［ドリップストーン校グループ］

●８月 15 日（金）の主なスケジュール

ドリップストーン校に登校　→　アクアシーン　→　第二次世界大戦の石油貯蔵トンネル・ウォーターフロント（昼食）　→　ダーウィン軍事博物館　→　サンセットパーク（ピクニック）

学校に丸一日登校できるのは今日が最終日です。（月曜日は半日のみ授業を受け、空港に移動し帰路につきます）。生徒たちは登校後、各々ドリップストーン校の生徒と交流した話や、連絡先を交換した話などを楽しそうに喋っていました。生徒たちが待機している部屋の前には、話をしたそうに待ってくれているドリップストーン校の生徒も居て、ほほえましく思います。

今日は、ホストファミリーの生徒たちとも一緒にダーウィン市内で校外研修です。

バスに乗り込み、はじめに行った場所が「アクアシーン」という施設です。何百匹もの野生の魚がやってくる浅瀬でパンを投げ入れ、餌付けをすることができます。生徒たちは海に足を入れ、足元までくる魚に餌をあげたり、魚があげる水しぶきに濡れたりしながら、楽しんでいました。

次に行ったのは、「ウォーターフロント」で、第二次世界大戦時、オーストラリア海軍が旧日本軍からの襲撃に備えて、石油を備蓄していたトンネル内を見学します。実際使用されていたトンネル内に、当時の写真や資料なども展示されており、生徒たちは翻訳機を使ったり、先生に説明を受けたりしながら、真剣に施設内を見学していました。そのあとは、徒歩で海岸沿いにあるリゾート感のある場所に移動。飲食店やいろいろな店舗が入った施設で昼食と買い物です。4 人以上のグループになり、ホストファミリーに持たせてもらったランチを食べたり、アイスを買ったり、お土産ではブレスレットやキーホルダーを購入していた生徒が多かったように思います。

昼食後に見学した「軍事博物館」は、第二次世界大戦中に日本軍の空襲を受けたダーウィンの歴史が中心に展示されており、迫力のある映像資料や、屋外では戦車や大砲なども見学できます。生徒たちは、普段見慣れない英単語に悪戦苦闘しながら、施設内を自由に見学していました。ショッキングな内容も多く、様々考えこんでいる表情をする生徒もいました。しかしながら、一般的に現在のオーストラリアの方は、日本に対し敵意を持っているのではなく、平和への願いをこめてこれらの歴史を伝えていっているとのことでした。見学を通じ、平和とは何か、国家間の争いで何が起こるのかを考えてくれたと思っています。

軍事博物館の見学終了後は、学校に戻りいったん帰宅。ホストファミリーの方と夕方にサンセットパークに集まり、ピクニックを行いました。ホストファミリーの方々がチキンやサラダ、パブロアなどを準備してくれており、ドリップストーン校の先生も含め全員で楽しみました。生徒たちは、遊具で遊んだり、走り回ったり、写真を撮ったり、恋愛の話をしたり、なまこを捕まえたり…暗くなるまで盛り上がっていました。

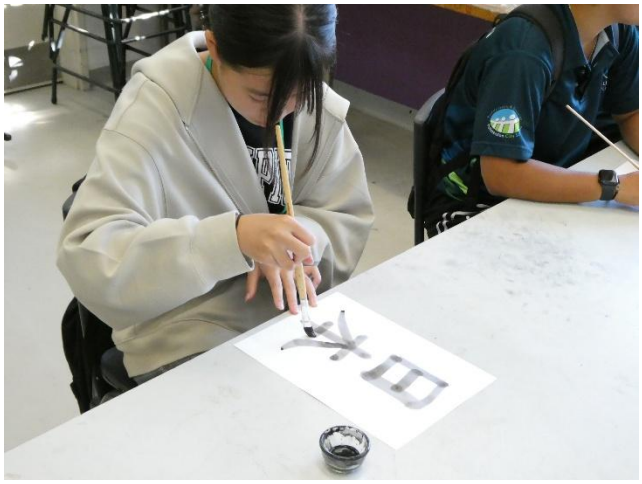
明日、明後日は学校も休みで、ホストファミリーと過ごす最後の時間です。全力で楽しみ、良い経験をしてきてほしいと思います。

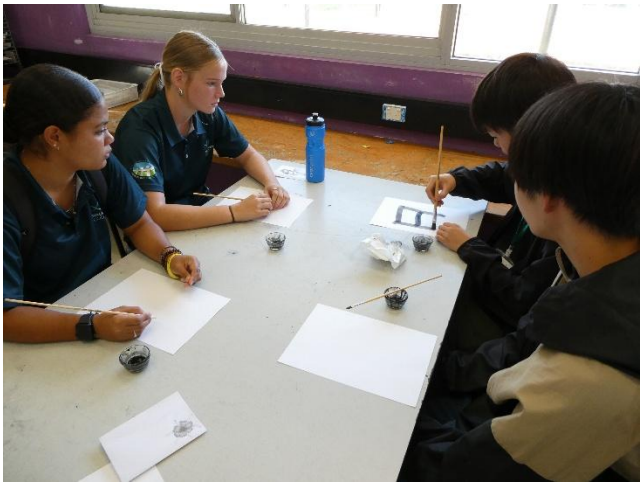
［パーマストン校グループ］

８月１５日（金）の主なスケジュール

中等部キャンパスに登校　→　授業（美術）→　校外学習（バラマンディ・アドベンチャー）→　昼食（ベリースプリングス・ネイチャーパーク）　→　授業（日本語）

今日も中学生のキャンパスに集合すると、次々と現地校の生徒たちが駆け寄ってきて研修生たちに話しかけてきます。前日に日本のマンガの話題で盛り上がった生徒に対して、手作りでマンガを切り貼りしたメッセージカードをくれる現地校の生徒がいるなど、交流がどんどん深くなっている印象です。



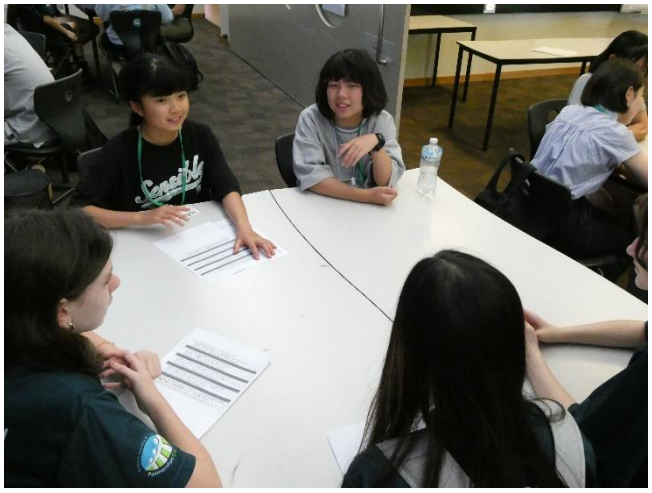


１時間目は、美術の授業です。紙と鉛筆で、故郷をイメージした絵を描いたり、書道をしたりしました。書道用の筆がなく、絵筆を代用しているため、毛筆が得意な研修生でも苦戦していました。それでも、集中してできあがった作品は、どれも個性的で、現地校の生徒に日本の文化をしっかりと伝えることができたと思います。

次は、バスに乗り込み、バラマンディ・アドベンチャーに釣り体験に向かいます。出発して 25 分ほどで到着し、２班に分かれて体験をスタートします。片方の班は、バラマンディ釣りから、もう一方はゴルフと槍投げから行います。バラマンディは大きくなると１m を超えるような大型魚で、普段釣りをやらない研修生たちもワクワクした表情でした。施設スタッフのサポートを受けながら、次々とバラマンディを釣り上げていきます。釣り上げた中で１番大きな魚はというと、なんと 75 ㎝というビッグサイズでした。釣り上げた魚を自らの手で持ち上げると、研修生たちはすごく嬉しそうな表情でした。一方、釣りをやっていない間は、ゴルフと槍投げを行いましたが、研修生たちは初めての体験に興味津々。思ったようにうまくいかず悔しい表情もありましたが、納得いくまでトライし続ける姿がありま

した。

ベリースプリング・ネイチャーパークに移動し、昼食です。サンドイッチを受け取り、それぞれ好きな場所で食べます。自然が豊富な人気エリアで、滝のある水辺ではたくさんの人が泳いでいました。

学校に戻ると、日本語の授業を受けました。授業中は、現地校の生徒と会話を楽しむグループがあったり、教室の外に出て、バレーボールや鬼ごっこをするグループがあったりと、それぞれが現地校生との交流を楽しんでいました。放課後も研修生たちのもとには、たくさんの現地校生徒が話しかけに来てくれます。中等部キャンパスは今日が最後なので、現地校生徒も会えなくなるのが寂しそうにしており、言葉を交わしたり、一緒に写真を撮ったりして別れを惜しんでいました。

現地研修の日程もゴールが近づいてきました。残りわずかですが、１分１秒を大事にしながらオーストラリアでの生活を過ごしてもらいたいと思います。